

# 令和元年度大船渡市立公民館運営審議会

日 時 令和元年6月4日（火） 午後1時30分～

場 所 大船渡市民交流館・カメラアホール  
多目的ホール

## 【 次 第 】

1 開 会

2 あいさつ

（委員、事務局職員の紹介）

3 会長及び副会長の選任について

4 報 告

報告第1号 平成30年度公民館事業の実施状況について

5 協 議

協議第1号 令和元年度公民館の事業計画について

6 そ の 他

7 閉 会

# 大船渡市立公民館運営審議会委員名簿

(任期：平成31年4月1日～令和3年3月31日)

役職名	氏 名	新・再	在任年数	委 嘱 区 分	所 属 等
委員	三 浦 昌 弘	再任	6年	学識経験者	元 中 学 校 長
委員	鈴 木 晴 紀	再任	4年	学識経験者	元 小 学 校 長 元 県 教 育 相 談 員
委員	志 田 倫 代	再任	4年	学識経験者	元 小 学 校 教 諭
委員	川 村 俊 彦	再任	4年	学校教育関係者	大船渡東高校校長
委員	薄 衣 裕 昭	再任	4年	学校教育関係者	赤崎小学校校長
委員	今 野 晋 司	再任	8年	社会教育関係者	元下欠地域公民館長
委員	新 沼 崇 久	再任	6年	社会教育関係者	元大船渡青年会議所理事長 海来プロジェクト代表
委員	佐 藤 善 公	再任	3年	社会教育関係者	千歳部落会長
委員	前 川 里 華	再任	4年	社会教育関係者	NPO法人おはなしころりん所属 元小学校PTA役員
委員	舟 野 ひとみ	新任	2年	社会教育関係者	元大船渡市職員 元大船渡市芸術文化協会事務局長
委員	佐々木 晋	新任	2年	社会教育関係者	元猪川小学校PTA会長 大船渡商工会議所総務部次長
委員	平 田 睦 子	新任	2年	社会教育関係者	浦浜西区地域回文化部長 大船渡市観光物産協会職員
委員	朴 澤 和 子	再任	6年	家庭教育関係者	元 幼 稚 園 教 諭 人形劇サークル代表
委員	村 上 泰 子	再任	4年	家庭教育関係者	元こども園園長心得 市地域婦人団体連絡協議会理事 綾里婦人会会長
委員	志 田 真理子	再任	4年	家庭教育関係者	児童家庭支援センター大洋所属 元市家庭児童相談員

※ 在任年数は、任期終了後（令和3年3月31日）までの通算年数。

## 社会教育法 抜粋

(公民館運営審議会)

**第29条** 公民館に公民館運営審議会を置くことができる。

2 公民館運営審議会は、館長の諮問に応じ、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議するものとする。

**第30条** 市町村の設置する公民館にあつては、公民館運営審議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、市町村の教育委員会が委嘱する。

2 前項の公民館運営審議会の委員の定数、任期その他必要な事項は、市町村の条例で定める。

## 大船渡市立公民館設置条例 抜粋

(審議会の設置)

**第4条** 法第29条第1項の規定に基づき、公民館に大船渡市立公民館運営審議会(以下「審議会」という。)を置く。

(審議会の委員の定数及び任期)

**第5条** 審議会の委員の定数は、30人以内とする。

2 審議会の委員の任期は、2年とする。ただし、欠員が生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

## 大船渡市立公民館規則 抜粋

(審議会の会長及び副会長)

**第5条** 大船渡市立公民館運営審議会(以下「審議会」という。)に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選とする。

2 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(審議会の会議)

**第6条** 審議会は、会長が招集する。

2 審議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

**第7条** 審議会の庶務は、中央公民館において処理する。

(補則)

**第8条** この規則に定めるもののほか、公民館の運営に関し必要な事項は、教育長の承認を受けて、館長が別に定める。

## 大船渡市公民館運営審議会会長及び副会長の選任について

大船渡市立公民館規則第5条第1項の規定により、大船渡市立公民館運営審議会会長及び副会長の選任を求めます。

令和元年6月4日

大船渡市立中央公民館  
館 長 白 石 拓 夫

職 名	氏 名
会 長	委員
副 会 長	委員

## 報告第 1 号

### 平成 30 年度公民館事業の実施状況について

平成 30 年度公民館事業の実施状況について、別紙のとおり報告します。

令和元年 6 月 4 日

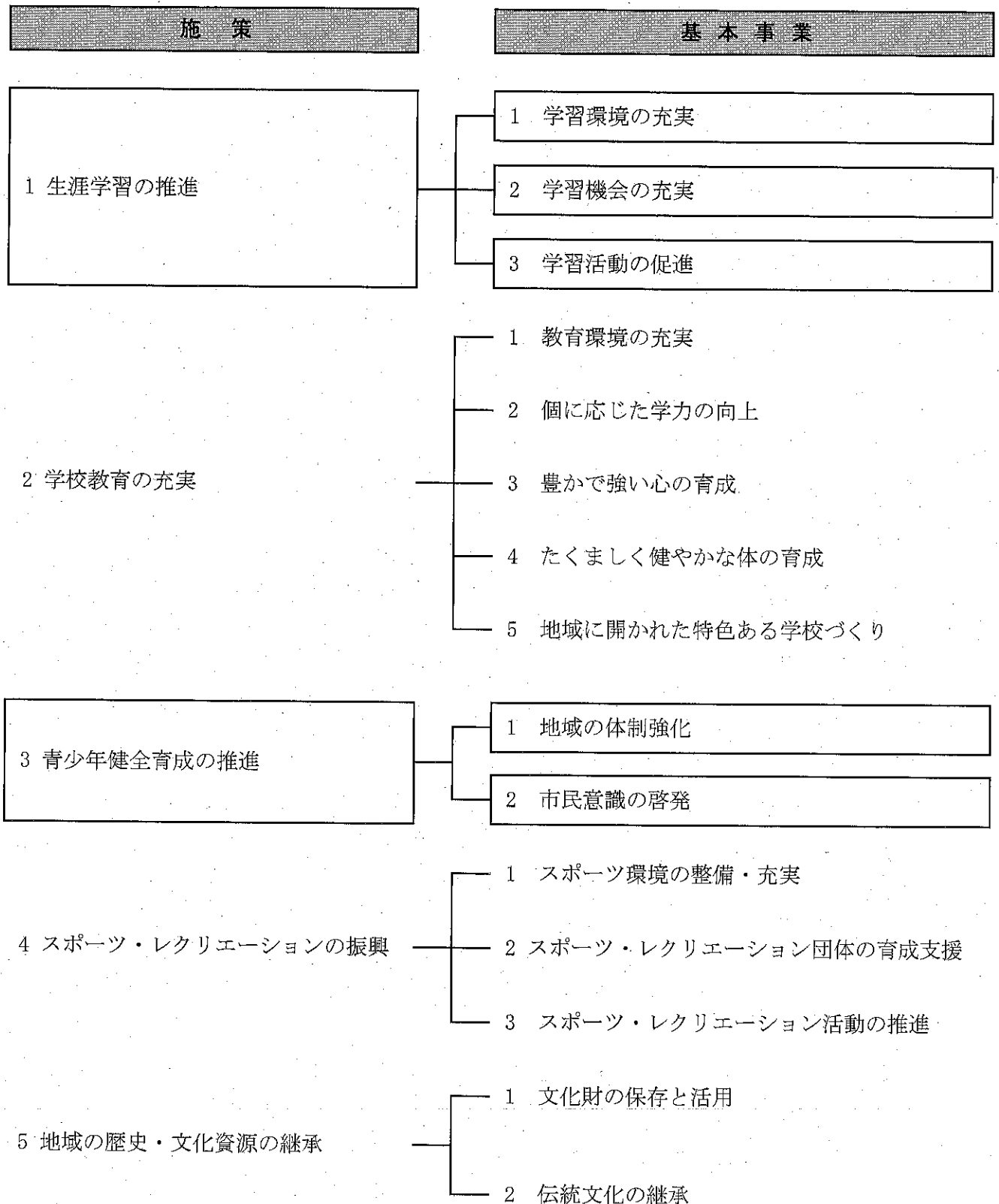
大船渡市立中央公民館

館 長 白 石 拓 夫

# 報告(1) 平成30年度公民館事業の実施状況について

## 施策体系

※ 中央公民館の所管は、□で囲われた部分



## 報告第1号 平成30年度公民館事業の実施状況について

### 【 施 策 】 生涯学習の推進

基本事業	計 画 内 容
(1) 学習環境の充実	・市民の多様な学習ニーズに対応し、生涯学習施設及び設備の充実に努める ・生涯学習施設の老朽化の進行に対応し、適切な維持管理に努める
(2) 学習機会の充実	・市民各層の多様な学習ニーズに応えるため、関連情報の収集に努め、積極的に周知を図る。
(3) 学習活動の促進	・各種事業の企画にあたり、市民の多様なニーズの把握に努め、魅力ある学習メニュー作りに取り組むとともに、若年層や勤労者にも配慮した開催方法を検討する

#### (1) 学習環境の充実

主 要 な 事 務 事 業 名	実施時期	実 施 状 況
施設・設備の供用	通年	大船渡市民交流館・カメラアホール（利用者29,947名、1,856件） 三陸公民館（利用者10,635名、365件）
施設・設備の整備	8～1月	大船渡地区公民館：2階多目的トイレ設置、事務室照明器具交換 蛸ノ浦地区公民館：研修室畳表替 猪川地区公民館：下水道接続 三陸公民館：大ホールパワーアンプ補修
施設の維持管理	4～3月	大船渡市民交流館・カメラアホール：施設管理業務等を指定管理者（㈱小川）に委託 三陸公民館：施設管理業務等を指定管理者（㈱小川）に委託
課 題		・施設・設備の老朽化に伴い、修繕等が必要な箇所が多くなっており、緊急度の高いものから対応するとともに、市公共施設等総合管理計画に基づき、計画的に更新・長寿命化を図る必要がある。

#### (2) 学習機会の充実

主 要 な 事 務 事 業 名	実施時期	実 施 状 況
生涯学習情報の提供	通年	市ホームページ、中央公民館報「カメラア」により学級・講座の情報等を提供
乳幼児学級	6～12月	開級式・10回学習会（講話、ワークショップほか）を実施（学級生22名、延べ参加人数154名、託児ボランティア登録者数23名）
市民講座	8～12月	学習会（全6回）を実施（延べ参加人数262名）
成人向け国際交流講座 （初級英会話講座）	6～8月	学習会（全10回）を実施（受講者16名、延べ参加人数135名）
成人向け国際交流講座 （国際理解講演会）	9月	明治大学連携事業として国際理解講演会を実施（9/30） 講師：商学部ジェームズ・アンドリュー・スタンレー教授 演題：カナダ人教授が見た日本人と日本社会、受講者数40名
生きがいセミナー	5～12月	市内11地区で学習会（健康、音楽、ニュースポーツ、野外研修等）を実施（入学生755名、延べ参加人数2,323名）
ふるさと・おおふなとお話大賞	6～1月	大船渡を舞台にした創作童話を募集（応募作品15作品） 入賞者数／4名（大賞1名、特別賞1名、奨励賞2名） 市ホームページで作品集を公開
地域再生支援文化活動事業	6～2月	市内11地区で学習会（寄せ植え講習、ニュースポーツ等）を実施（延べ参加人数827名）
課 題		【ふるさと・おおふなとお話大賞】 ・市内小中学校及び高校を通じて児童・生徒の作品応募の周知に努めたが、応募作品数は昨年度と比較して大幅に減少した。作品応募数の減少傾向に歯止めがかからない。 【地域再生支援文化活動事業】 ・全般的に受講者が女性や高齢者に固定化している傾向がある。

## 報告第1号 平成30年度公民館事業の実施状況について

### (3) 学習活動の促進

主要な事務事業名	実施時期	実施状況
地区公民館・地域公民館 役員等研修会	6/24	市主催の地域づくり講演会と共同開催。講演「地域再生の道ー全国の『地域づくり』事例よりー」講師：明治大学農学部専任教授 小田切徳美氏（参加人数45名）

### 【 施 策 】 青少年健全育成の推進

基本事業	計 画 内 容
(1) 地域の体制強化	・地域の青少年組織や各地区・地域公民館、PTAなどの自主的な活動への支援を通じて、家庭や地域の教育力の向上を図り、地域ぐるみで青少年の健全育成を図る教育振興運動推進体制の整備を促進する。
(2) 市民意識の啓発	・小中学生や高校生について、地域や学校と連携して、様々な社会貢献活動や体験活動、さらには、地域行事への参加を促進する。

#### (1) 地域体制の強化

主要な事務事業名	実施時期	実施状況
青少年体験学習事業	10～12月	おやこサバイバル教室、3Dプリンター・3DCAD体験を実施（延べ参加人数51名）
英語スクール	7・1月	・4歳児～小学2年生までの児童を対象に2日間外国人英語指導助手による会話やゲーム等を実施（参加者数：22名） ・中学生を対象に1日間外国人英語指導助手によるゲームやプレゼンテーションを実施（参加者数：23名）
家庭教育学級	6～2月	小中学校・こども園等15箇所で開催（延べ参加人数1,021名）
課 題		・全事業において、日程の選定が難しい。（学校やこども園等の地域行事、クラブ活動、その他市内イベントとの調整により参加人数に影響がでる） 【家庭教育学級】 ・前年度と同様学習計画の立案段階で受け入れ側の小中学校の担当者との連絡調整が課題となっている。



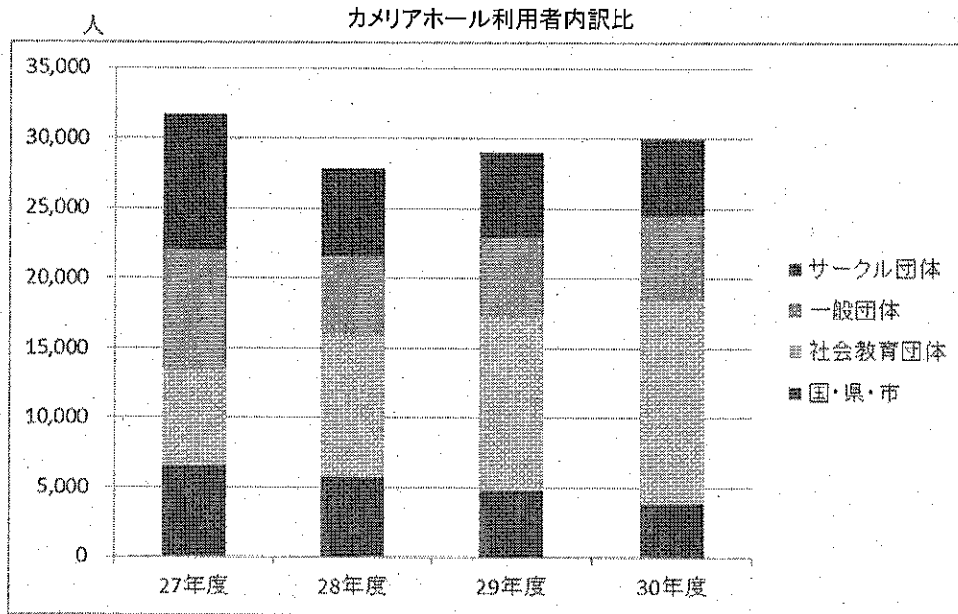
## カメラホール利用状況

### 総括

	平成30年度	平成29年度
利用者数(人)	29,947	29,030
利用件数(件)	1,856	1,870
使用料(円)	4,864,174	4,648,710
減免額(円)	3,687,214	3,427,070
納入額(円)	1,176,960	1,221,640

### 利用者の推移(単位:人)

	30年度	29年度	28年度	27年度
国・県・市	3,875	4,806	5,746	6,525
社会教育団体	14,595	12,514	10,197	6,924
一般団体	6,095	5,624	5,615	8,618
サークル団体	5,382	6,068	6,303	9,659
計	29,947	29,030	27,861	31,726



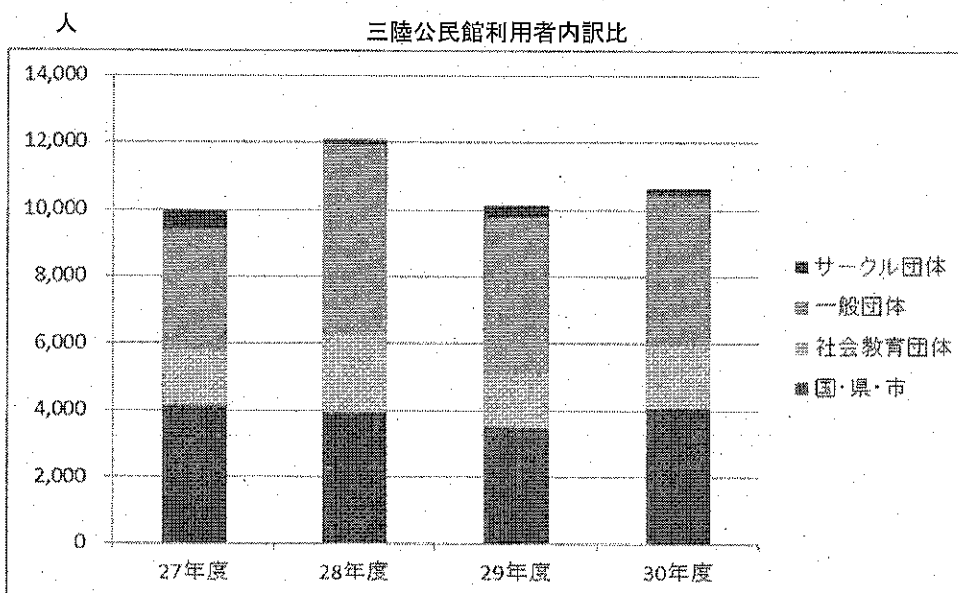
## 三陸公民館利用状況

### 総括

	平成30年度	平成29年度
利用者数(人)	10,635	10,123
利用件数(件)	365	339
使用料(円)	3,604,008	2,490,821
減免額(円)	3,137,276	2,141,527
納入額(円)	466,732	349,294

### 利用者の推移(単位:人)

	30年度	29年度	28年度	27年度
国・県・市	4,089	3,513	3,957	4,147
社会教育団体	1,865	1,613	2,326	1,652
一般団体	4,490	4,640	5,664	3,635
サークル団体	191	357	139	550
計	10,635	10,123	12,086	9,984



中央公民館所管事業 成果指標達成状況一覧

事務事業名	対 象	意 図	指標名	単位	成果指標				目標値 (R1)
					H27	H28	H29	H30	
カメラホール管理 運営事業	市民	安全・快適に学習活動が行える環境を整える。	カメラホール利用者数	人	31,726	27,861	29,030	29,947	30,000
			施設不具合件数	件	1	8	4	4	5
			施設不具合対応率	%	100	100	100	75	100
三陸公民館施設管理・運営事業	市民	安全・快適に学習活動が行える環境を整える。	三陸公民館利用者数	人	9,984	12,086	10,123	10,635	10,000
			施設不具合件数	件	0	0	0	3	2
			施設不具合対応率	%	-	-	-	50	100
生きがいセミナー	60歳以上の高齢者	学習活動を継続することで、より生きがいのある生活を送れるようになる。	延べ講座参加者数	人	2,452	2,349	2,339	2,323	2,400
			学習に参加して有意義だったと感じた参加者の割合	%	94	83	77	80	80
乳幼児学級	4歳以下の子どもをもつ親等	学習活動や参加者同士の情報交換を通じて、自信を持って家庭での乳幼児教育ができるようにする。	講座に参加して有意義だったと感じた保護者の割合	%	100	95	100	100	100
地域再生支援文化活動事業	市内11地区住民	市民相互のコミュニケーション維持と、知識・教養・文化等を学習することにより、復興への意欲を醸成する。	延べ講座参加者数	人	1,477	865	840	825	1,000
			学習に参加して有意義だったと感じた参加者の割合	%	94	93	96	93	97
成人大学講座 (平成29年度から市民講座に名称変更)	20歳以上の市民	・市民の学習要求を充足させる。 ・学習活動を通じて身につけた知識や経験を活かしてもらう。 ・生涯にわたって学習活動を続けることの大切さを知っておはなしづくりを通じて、参加した児童生徒等の郷土愛を育み、青少年の健全育成を図る。	講座の年間延べ受講人数	人	268	421	235	262	320
			満足度の高評価比率	%	-	-	-	93	100
ふるさと・おおふなとお話大賞事業	一般市民	・体験活動を通じて大船渡の子どもが郷土への愛着を深める機会やきっかけを提供する。 ・普段ふれる機会の少ない分野の体験機会を提供し、子どもたちの好奇心や未知の分野へ挑戦する意欲を育む。	応募作品数	点	26	38	26	15	30
青少年体験学習事業	・市内全体の小中学生	・体験活動を通じて大船渡の子どもが郷土への愛着を深める機会やきっかけを提供する。 ・普段ふれる機会の少ない分野の体験機会を提供し、子どもたちの好奇心や未知の分野へ挑戦する意欲を育む。	参加者数	人	-	55	64	51	60
			満足度の高評価比率	人	-	95	76	79	95
家庭教育学級	幼稚園保育園児～中学生の子どもを持つ保護者	・参加者が社会教育環境の変化に対し、家庭教育に有効な知識や手法を学ぶ。 ・子育て環境の適応変化を促す。	学習に参加して有意義だったと感じた参加者の割合	%	-	90	91	91	95
			小中学校・保育園等单位での講演会開催計画数に対する開催数の比	%	-	-	100	100	100
市民講座 (国際理解・交流事業関係)	市民	・英会話力を養うことで、外国人とのコミュニケーション能力が高まる ・国際理解を深める	定員充足率	%	-	-	-	49	67
青少年体験学習事業 (英語スクール開催)	・市内の4歳児～小学校2年生 ・市内全体の小中学生	・英語への興味関心を深め、コミュニケーションの手段として身につけてもらう ・外国人との交流を通じ、相互理解を深める	定員充足率	%	-	-	-	73	100
			「また参加したい」と回答した参加者の比率 (実施後のアンケートによる)	%	-	-	-	100	100

## 協議第 1 号

### 令和元年度公民館の事業計画について

令和元年度公民館の事業計画について、別紙のとおり協議します。

令和元年 6 月 4 日

大船渡市立中央公民館

館 長 白 石 拓 夫

## 協議第1号 令和元年度大船渡市立公民館事業計画について

### 【 施 策 】 生涯学習の推進

基本事業	計 画 内 容
(1) 学習環境の充実	・市民の多様な学習ニーズに対応し、生涯学習施設及び設備の充実に努める ・生涯学習施設の老朽化の進行に対応し、適切な維持管理に努める
(2) 学習機会の充実	・市民各層の多様な学習ニーズに応えるため、関連情報の収集に努め、積極的に周知を図る
(3) 学習活動の促進	・各種事業の企画にあたり、市民の多様なニーズの把握に努め、魅力ある学習メニュー作りに取り組むとともに、若年層や勤労者にも配慮した開催方法を検討する

#### (1) 学習環境の充実

主要な事務事業名	実施時期	事業内容
施設・設備の供用	通年	カメラアホール、三陸公民館、地区公民館の施設設備の供用
施設・設備の整備	通年	カメラアホール、三陸公民館、地区公民館の施設修繕等
施設の維持管理	通年	カメラアホール、三陸公民館の施設管理業務を指定管理者に委託

#### (2) 学習機会の充実

主要な事務事業名	実施時期	事業内容
乳幼児学級	6～11月	乳幼児期における子育てや親子関係等に関する多様な学習機会を提供する。 〔対象〕乳幼児期の子どもを持つ親等
市民講座（国際交流講座を含む）	8～11月	市立図書館・博物館等の社会教育機関や大学等と連携し、専門的分野に関する多様な学習機会を提供する。 〔対象〕市民
初級英会話講座	6～8月	市民の国際コミュニケーション力の向上を目的に、初心者を対象とした英会話講座を開催する。 〔対象〕高校生以上の市民
生きがいセミナー	5～12月	高齢者の生きがいや教養の向上に資するため、学習機会を提供する。 〔対象〕市内11地区の高齢者（60歳以上）
ふるさと・おおふなとお話大賞	6～1月	大船渡を舞台にした創作童話の募集、審査・表彰を行う。 〔対象〕小・中学生、高校生、一般
地域再生支援文化活動事業	4～3月	学習や創作活動を通じて、住民相互の交流促進とコミュニティの形成を図る。 〔対象〕市内11地区の住民

#### (3) 学習活動の促進

主要な事務事業名	実施時期	事業内容
地区公民館・地域公民館役員等研修会	7月	まちづくりにかかる研修会を開催する。 〔対象〕地区・地域公民館役員、公民館運営審議会委員

## 協議第1号 令和元年度大船渡市立公民館事業計画について

### 【 施 策 】 青少年健全育成の推進

基本事業	計 画 内 容
(1)地域の体制強化	・地域の青少年組織や各地区・地域公民館、PTAなどの自主的な活動への支援を通じて、家庭や地域の教育力の向上を図り、地域ぐるみで青少年の健全育成を図る教育振興運動推進体制の整備を促進する。

#### (1) 地域体制の強化

主 要 な 事 務 事 業 名	実施時期	事 業 内 容
青少年体験学習事業	10～12月	子ども達の自主的な活動の促進と健全育成のため様々な体験学習の機会を提供する。 〔対象〕小・中学生
英語スクール	9、1月	次代を担う子どもたち国際コミュニケーション能力の育成や国際理解の増進を目的とし、楽しみながら英語を学び、異文化交流を図る機会を提供する。 〔対象〕4歳以上の未就学児・小2までの児童・中学生
家庭教育学級	4～1月	子どもの成長期における家庭や地域が果たす教育的役割や、課題等に関する学習機会を提供する。 〔対象〕小・中学校、幼稚園・保育園・こども園のPTA、地域住民等